



京都初絵歳時記

月刊

あじえんだ

2008年

2月



みやこ
京のアジェンダ21フォーラム 事務局通信

月刊あじえんだは当フォーラムの活動紹介を中心とした
京都発、環境関係の情報発信紙です

事務所 〒612-0031 京都市伏見区
深草池ノ内町13
京エコロジーセンター2F
活動支援室内
TEL : 075-647-3535 FAX : 075-647-3536
E-mail : ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp

事務局 〒604-8101 京都市中京区柳馬場通
御池下ル柳八幡町65
京都朝日ビル4F
京都市総合企画局地球温暖化対策室内
TEL : 075-211-9281 FAX : 075-211-9286

京のアジェンダ
21フォーラム



2007（平成19）年度第5回幹事会・第4回常任幹事会合同会議 フォーラム 組織体制などの改革の具体案について意見交換

1月28日（月）、市役所寺町第4会議室において、京のアジェンダ21フォーラム2007（平成19）年度第5回幹事会・第4回常任幹事会合同会議が開かれました。

●2005（平成17）年度「戦略検討委員会～フォーラム改革への提案～」に形を与える改革具体案を検討

フォーラムでは2005（平成17）年度に設置した「戦略検討委員会」の報告をもとに、『京のアジェンダ21』推進のための“4つのミッション”（1「パートナーシップの構築」2「事業の創出と育成」3「政策の実現と統合」4「市民へのアピール」）を実現できる体制づくりを進めています。これがフォーラム改革です。2006（平成18）年度から具体化が始まり、たとえばフォーラムの活動方針について、長期的な展望のもとで2007（平成19）・2008（平成20）・2009（平成21）年度の複数年度にまたがる方針が決定された他、より大きな活動成果を上げることのできる新しい取組も推進されています。

今回の幹事会では、1月18日（金）の企画会議でとりまとめられた2か年のフォーラム改革の具体化の総まとめといえる案が提出され、これについて意見交換が行われました。

●フォーラムの組織体制を改革：事業の推進体制を強化し、参加者の一層の拡大を推進

2006（平成18）年度から新たに、フォーラムの事業予算をワーキンググループから提案された「プロジェクト」の活動に充てるやり方がスタートしていますが、改革の焦点のひとつはフォーラムの事業の拡大発展におかれています。以下のことが具体案の大きな柱です。

① 幹事会・常任幹事会の改革

常任幹事会を廃止し、フォーラムが実施する事業につ

いて幹事会が直接把握し機関決定する体制とします。また、各幹事が“どれかのワーキンググループを担当すること”として、活動の現場と機関決定を行う幹事会の距離を大幅に近づける制度とします。

② ワーキンググループの改革

事業（プロジェクト）創出の場であり、新たな参加への窓口でもあるワーキンググループについては、現在活動中の5つのグループを設置することとした上で、今まで以上に事務局が基礎的な運営に責任を持つとともに、幹事とのつながりも強めるしくみをつくりま

③ 事務局の改革

事業活動の充実や会員の拡大、効果的な広報を行う要である事務局について、求められる役割を十分果たせるよう、体制を強化します。

④ 広報・情報交換・交流の改革

2006（平成18）年度に入って既に実施されているさまざまな改革を引き続き推進します。

⑤ 基本文書『京のアジェンダ21』

長期的な視点のもとで『京のアジェンダ21』についても見直しを検討します。

●次回幹事会でさらに検討を進め2008（平成20）年度総会で決定

幹事会から、意見交換を行って、基本的に企画会議から提案された改革具体案に沿って推進していくことでまとめるよう、また、事務局でさらに検討すべきいくつかの宿題をこなすよう指示が出ました。フォーラム改革は、次回幹事会でさらに検討を進め、2008（平成20）年度の京のアジェンダ21フォーラム総会において決定されることとなります。

Kyoto



脱温暖化行動キャンペーン2008

本年度は、当フォーラムは以下の取組を行います
「家庭の省エネ相談所」「バスと電車でecoグルメ！」
「グリーン電力を広めよう」 詳細はp.2・p.3記事



Agenda Forum

2月の
ミーティングと
主催行事の予定

2月1日（金）	KES普及セミナー「KESで始めよう！公共施設の環境対策」
2月4日（月）～	脱温暖化行動キャンペーン「家庭の省エネ相談所開設」18か所 （詳細はp.2記事参照）
2月13日（水）	エコまつりWG運営会議
2月14日（木）	朱雀第四小学校・KESC交通チームモデル授業
2月15日（金）～	脱温暖化行動キャンペーン「バスと電車でecoグルメ！」実施 （詳細はp.2記事参照）
2月16日（土）	脱温暖化パートナーシップフォーラム（詳細はp.3記事参照）
2月18日（月）	政策提言プロジェクトチーム会議
2月23日（土）	大宮保育園おひさま発電所見学会
2月26日（火）	藤ノ森小学校・KESC風チームモデル授業

脱温暖化行動キャンペーン2008

「家庭の省エネ相談所」「バスと電車でeco(エコ)グルメ！」
「グリーン電力を広めよう」を実施します

1. 「家庭の省エネ相談所」

昨年よりもパワーアップ！市内18か所で開催

① 個々の家庭に省エネのアドバイス

京都市域の温室効果ガス排出量の27.1%を占める家庭からの排出量は年々増加傾向にあります。各家庭の排出量を減らすには、省エネルギーの取組が効果的です。

「家庭の省エネ相談所」では、相談を受ける方が診断シートに生活スタイルや1ヶ月の光熱水費などを記入すると、コンピューターにより診断書が発行されます。その診断書をもとに、専門知識を持った「省エネ診断アドバイザー」が各家庭の暮らしに応じた省エネルギーの方法をアドバイスします。

今年は「家庭の省エネ相談所」を、昨年に引き続き京都市の区役所・支所14箇所、さらに市内の4箇所の商業施設を加えて、表のとおり市内18箇所、当フォーラムと京都府地球温暖化防止活動推進センターの共同で開設します。

② 省エネ相談の効果測定を実施

今回は、「家庭の省エネ相談所」で省エネルギーのアドバイスを受けた方が、そのあと実際に家庭の省エネルギーにどれくらい取り組むことができたかの効果をみるため、電気・ガス使用量のデータの提供をお願いすることとし、各省エネ相談所において、参加者から、2008（平成20）年3月分の電気・ガス使用料請求明細書を郵送で提出いただきます。

表1 「家庭の省エネ相談所」開設場所と開設日

開設場所		開設日	開設時間等
商業施設	ジャスコ洛南店（南区）	2月9日（土）	いずれも
	京都ファミリー（右京区）	2月10日（日）	11時～16時
	京都三条会商店街（中京区）	2月12日（火）	相談は無料
	カナート洛北（左京区）	2月15日（金）	事前申込不要
区役所・支所	北区役所	2月4日（月）	いずれも
	上京区役所	2月5日（火）	
	中京区役所	2月7日（木）	
	山科区役所	2月13日（水）	
	下京区役所	2月14日（木）	
	右京区役所	2月19日（火）	
	西京区役所	2月20日（水）	10時～14時
	洛西支所（西京区）	2月21日（木）	
	伏見区役所	2月22日（金）	
	深草支所（伏見区）	2月25日（月）	
	醍醐支所（伏見区）	2月26日（火）	
	東山区役所	2月27日（水）	
	左京区役所	2月28日（木）	
	南区役所	2月29日（金）	

2. 「バスと電車でeco(エコ)グルメ！」

① 市民の公共交通利用を促進

脱温暖化社会の実現に向けて、市民の交通手段のマイカーからCO2排出の少ない公共交通機関（バス・電車）への転換を促すため、公共交通機関で飲食店に行き、飲食すると、お店から各種のお得なサービスが受けられる取組「バスと電車でecoグルメ！」を行い、「市民」「事業者」「地球」の「三方よし！」となります。

○市民のメリット

キャンペーン期間中、参加飲食店に行くとお得！

○飲食店のメリット

キャンペーンに参加することで脱温暖化に取り組むお店として知名度アップ！
お店の知名度アップで来店客数もアップ！

○脱温暖化社会の推進

マイカーからバス・電車に交通手段を切り替えることでCO2排出量がダウン！

② 実施期間と内容

実施期間は2008（平成20）年2月15日から3月31日までです。

飲食店で特典を受けるには、市バス・地下鉄・嵐電

の一日乗車券やスルッとKANSAIカードなどでバス・電車に乗って飲食店に行き、日付の入った乗車券を見せます。それぞれの参加飲食店では、ドリンクサービスや飲食代金割引などの特典を提供します。

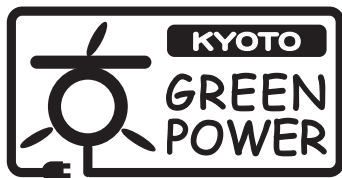
③ 参加飲食店などの広報

「バスと電車でecoグルメ！」に参加する飲食店とそれぞれのお店が実施する特典の内容を、ポスター・チラシ・インターネットのホームページ（<http://www.datsuondanka.org/>）で広報します。

なお、ポスター掲出・チラシ配布については、交通事業者（京都市交通局・京福電気鉄道）の協力を得て実施します。皆様も、駅などで「バスと電車でecoグルメ！」の広報を見かけたら、お店をチェックして、ご飲食の機会に特典を受け取ってください。

④ 参加飲食店参加申し込み

同封のチラシ「バスと電車でecoグルメ！参加飲食店募集」にご記入の上、FAXしていただくことで申し込みを受け付けています。上記ホームページにて、同じチラシをダウンロードできます。



3. 「グリーン電力を広めよう」

京グリーン電力証書制度をイベントでの利用を通じてアピール

① 京都発「京（みやこ）グリーン電力証書制度」がスタート

「京（みやこ）グリーン電力証書制度」とは、自然エネルギーによって発電され、認証機関によって認証された電力が持つ、環境負荷の少ない電力という価値を、当フォーラムが「京グリーン電力」として証書化し、企業や自治体、イベント主催者などの事業者が証書を購入してもらうことでグリーン電力の拡大・普及を目指す仕組みです。

現在、京都市内の市民共同おひさま発電所（市民、事業者が基金を出し合って、保育所等に太陽光発電パネルを設置する取組）で発電した電力の環境価値分を証書化して提供しています。

制度の利用第1号は、嵐山（昨年12月）および東山（今年3月）で開催される「京都・花灯路」です。

② 利用第2号は「脱温暖化パートナーシップフォーラム」（2月16日開催）

2月16日開催の京都市主催イベント「脱温暖化パートナーシップフォーラム」が、「京グリーン電力証書制度」を利用します。これは、同制度の利用第2号となるものです。

③ 「脱温暖化パートナーシップフォーラム」イベント詳細

地球温暖化防止に向けた世界の約束事「京都議定書」の発効（2月16日）3周年を記念し、脱温暖化に向けた活動を実践している皆様の取組の発表と参加者間の交流を行います。

○日時：2008年2月16日（土）13：30～16：00

○会場：アバンティホール（京都駅八条口）

定員360名 入場無料 要申込

○主催：京都市

○共催：京都府／京都商工会議所／（社）京都工業会

／京のアジェンダ21フォーラム／京都府地球温暖化防止活動推進センター／京と地球の共生府民会議／京エコロジーセンター

○開催内容：

1. 基調講演「持続可能な地域社会に向けた多様な主体の役割」講師：内藤正明 氏
2. 報告：COP13「バリへ届け！『京都の声』大使」の現地報告
3. 取組発表（脱温暖化に向けた活動を実践する団体等による取組発表 当フォーラムも発表を行います）

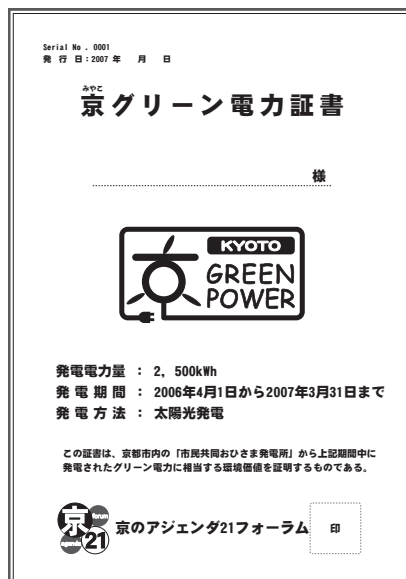
○申込に関する問い合わせ先：

京都市市政情報総合案内コールセンター

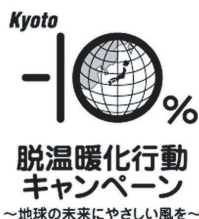
（京都いつでもコール）電話：075-661-3755

下段URLの脱温暖化行動キャンペーンホームページにも申込方法が詳しく記載されています。

【グリーン電力証書】



左のような証書を発行し、環境に優しい電力への協力を証明しています。証書を発行した団体へは同ロゴマークを使って環境に優しい電力利用をアピールしていただきます。



脱温暖化行動キャンペーン ホームページ

<http://www.datsuondanka.org/>

脱温暖化行動キャンペーン京都ネットワーク

京のアジェンダ21フォーラム／京都市／京都府／京都商工会議所／（社）京都工業会／京都府地球温暖化防止活動推進センター／京と地球の共生府民会議／京エコロジーセンター

事務局動静 1月 ～事務局スタッフの動きを報告します～



5日（土）仕事始め

11日（金）エコツーリズム

WG運営会議

脱温暖化行動キャンペーン

京都ネットワーク会議

16日（水）KES C交通チーム

ワークショップ

KES C森チーム会議

17日（木）エコまつりWG運営会議

18日（金）企画会議

自然エネルギーWG運営会議

21日（月）

KES環境委員会

23日（水）

KES C風チームワークショップ

25日（金）

脱温暖化行動キャンペーン・

家庭の省エネ相談所打合せ

28日（月）

幹事会

KES C交通チームワークショップ

京都三条ラジオカフェ番組出演

脱温暖化行動キャンペーン京都

ネットワーク会議

KES C森チームワークショップ



【第8回】小山直美のドイツ報告 人々の暮らし まちづくりと自然エネルギー



昨年4月下旬から5月下旬までの1か月間、私がボランティアで関わっている日本熊森協会から、国際ロータリー第2680地区（兵庫県）のGSE（Group Study Exchange）プログラムで、ドイツ南西部シュトゥットガルト近郊に、環境研修に行かせていただきました。

今回は、ドイツでのまちづくりと自然エネルギーについて、ご紹介させていただきます。

■伝統的な街並みを大切にする人々

私が訪問した地域は、まるでおとぎ話に出てくるような街並みのところが多かったです。教会を中心に、伝統的な赤い屋根の可愛い家が立ち並ぶ、美しいまちでした。

訪問した4つの市（Bietigheim, Ludwigsburg, Heilbronn, Crailsheim）は、第二次世界大戦中に、空爆で街の殆どが破壊されたそうです。それを、程度の差はありますが、元の形に復元したのだそうです。そこに暮らす人々からは、自分のまちに愛着を持ち、古いものを大切にしようという思いが感じられました。

その土地の良いものをいつまでも残していこうとする姿勢は、京都のまちづくりでも、参考にしたいものです。

■歩行者天国で賑わう街

訪問した地域の中には、歩行者天国にしている場所がいくつかありました。Heilbronnでは、都心の商業地の一部の道路を、車の進入を禁止し、歩行者、自転車、バスやトラムだけを通行可能にしていました。市役所前の広場はマーケットになっており、買い物客で活気付いていました。夏が短いとか、ドイツの人々は日光浴が好きで、カフェテラスで食事をする人が多いです。歩行者天国だからこそ、外でも排気ガスの臭いが気にならず、気持ちよく食事を楽しむことができます。

京都では、車の乗り入れを規制すると言うと、お店が「お客さんが減る」と言って反対する場合があります。しかしドイツでの歩行者天国の賑わいを見ていると、歩行者中心の街にすることで、むしろ

ろお店の売り上げは増えることが期待できると思います。ぜひ、京都の四条通りなどでも、歩行者天国を実現したいです。

■自然エネルギー

ドイツでは太陽光や風力などの自然エネルギーの利用が進んでいます。車で移動する際も、厩舎や家屋などの屋根の上に設置された太陽光発電パネルや、広大な平原に建てられた風力発電機がよく目に留まりました。

電車や船のタービン、風力発電機を造っている会社、VOITH社を見学しました。職員の方によると、ドイツでは国民が使う電気の量は既に十分確保されているため、これ以上風力発電機が設置されることはないそうです。現在ドイツで利用されている発電機が20年くらい経ち、老朽化しているのも、今後はメンテナンスや建て替えが増えるだろう、とのことでした。

日本では、しばしば野生動物の生息地、市民の水源地である山の上や尾根沿いに風力発電機が設置されるため、風力発電を増やすことには賛否両論があります。ドイツでも、野生動物保護や景観上、反対意見も少なくないそうです。地球温暖化、動物との共存、水の問題など、様々な角度から見て判断する必要があると思いました。

Heilbronnの市役所前のマーケット（前の道路は歩行者天国）



藤森通信 竹花 由紀子

年賀はがき
古紙配合率 偽装
(40%と言いつつ、
実際は12.5%だった)
製紙各社
許せん!

ちま
ちま

めり
めり

仕事して
ください
この紙の1マス分しか
古紙入ってないですよ
たった1%と
いうことはワッ
100マス

事務局短信 2月1日から脱温暖化行動キャンペーン2008が始まりましたが、バスと電車でecoグルメ!の参加飲食店はまだまだ募集中です。参加飲食店は、地球温暖化防止に取り組むお店としてPRさせていただきます。ぜひご応募ください。また、行きつけのお店にぜひこの取組をご紹介します!（竹村光世）／家庭の省エネ相談所は大勢の省エネ診断アドバイザーの方々などの協力で開設しますが、フォーラム事務局のメンバーも全員が交代で相談所の運営に参加します。当日、相談所で皆様にお目にかかれることを楽しみにしています。ぜひ、最寄りの会場の家庭の省エネ相談所に（ご家庭の電気・ガス・灯油・ガソリン代をチェックした上で）お越しください。お待ち申し上げております。（小山直美）／すでにご覧になってお気づきの方もいらっしゃると思いますが、フォーラムのホームページを全面リニューアルしました。事務局にお問合せいただかなくてもフォーラムに関する各種の情報がわかるような、またワーキンググループの活動など動いている取組を逐次ご紹介できるような内容に改善したつもりです。（長谷川吉典）